

勝田環境

産廃受け入れで抽選会

コロナ禍の対応が好評

建設系廃棄物などの中間処理を手掛ける勝田環境(茨城県ひたちなか市、望月福男社長、☎029・272・2141)は、コロナ禍

で減少した産廃の受け入れに歯止めをかけようと、今年8月から豪華賞品が当たる「サンキューサンパイ! 倍返し! 抽選会」を開始。顧客に喜ばれている。

2020年春から始まったコロナ禍。今年

に入り、産廃の受け入れ量が減少傾向となった。打開策の一つとして考えたのが受け入れ時に計量票1枚でできる抽選会だ。

同社の大野勇太郎工場長は「抽選会に加えて受け入れ時間を前より延長、朝7時からにしたところ、荷下ろしの待ち時間が短縮できるとして、こちらも喜ばれた」と話す。

抽選は外れなしで全

抽選用のガチャガチャ



4等が「カップ麺1ケース」などなかなか豪華といえる。

現在、緊急事態宣言が解除され、受け入れ量は徐々に戻りつつあるという。大野工場長は「コロナ禍での対応で、期間限定のキャンペーンのつもりだったが、思った以上に好評で当面、継続していきたい」と話している。